

第1回 坂出市立中学校標準服のあり方に関する検討委員会 議事録

日時：令和5年10月24日（火）19時00分～20時30分

場所：坂出市教育会館2階大会議室

■出席者

坂出市教育委員会	教育長
委員 香川大学教育学部	教授
坂出市立坂出中学校 P T A	
坂出市立東部小学校 P T A	
坂出市立林田小学校 P T A	
坂出市立坂出中学校 P T A	
坂出市立東部中学校 P T A	
坂出市立白峰中学校 P T A	
坂出市小学校長会	会長
坂出市中学校長会	会長
坂出市立東部中学校	校長
坂出市立白峰中学校	校長
坂出市立瀬居中学校	校長
事務局 学校教育課	課長
学校教育課	主幹
学校教育課	主任指導主事
学校教育課	指導主事
学校教育課	指導主事

■次第

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ

中学校の標準服について、多様な視点からの見直し、検討を行う。形や機能性、ジェンダーレスについて性の多様性、経済性など、生徒一人一人が積極的な学校生活を送れるよう子どもたちにとってよりよい標準服となるよう審議をお願いする。

■議事

- (1) 委員の紹介
- (2) 委員長・副委員長選任
- (3) 資料説明

資料1 坂出市中学校長会からの新標準服（ブレザー型）の導入についての要望

資料2 ジェンダーレス制服、市立中学校で導入方針 坂出市議会一般質問
(新聞記事のため未掲載)

資料3 第1回坂出市立中学校標準服のあり方に関する検討委員会
現状・目的について

検討事項について

資料4 先進地A市の標準服（ブレザー型）の導入事例

(4) 質疑事項・協議事項

- ・新標準服の主な機能について：袖にボタンがないこと、フロントボタンを付け替えることで左右どちらでも可能、シルエットはA体、B体が選べる。
- ・主な学生服メーカーについて：3社
- ・メーカーの決定について：検討委員会で仕様を決定、その仕様を公開することで、メーカーの価格競争を促し、保護者負担の軽減を図る。
- ・A体、B体の別について：男女の差ではなく、個人によって選択できる。
- ・メーカーによって同じ紺でも色が違う：並べたら違いがわかるが、遠目に見たら分からない。識別番号まで指定すると限定されてしまう。
- ・夏用と冬用について：ボトムは夏用と冬用があるが、ブレザーは同一である。
- ・先進地A市のベストの指定について：ベストは指定されていない。
- ・スクール系ベストについて：女子は、夏季のトップが白色のポロシャツやブラウスだけの場合、下着が透けるのが気になるので課題である。
- ・ジャケットの丈の長さについて：スカート丈についての学校からの指定はあるが、ブレザーの丈についての指定はあるのか。
- ・新標準服導入に向けての今後の流れについて：令和7年4月からの導入を考えているが、メーカーでの製造や生地への輸入等の都合から、令和6年4月までには仕様を決定し、公表したい。
- ・ボトムのチェック柄について：本日見本としてご覧いただいている先進地A市のボトムのチェック柄の生地はオープン素材ではあるが、チェック柄に決めてしまうとバリエーションがなくなるので、価格競争が起こりにくい。
- ・価格差について：生地や柄によって価格の差はあるが、ついでにどれだけあるのか、見積もりは出せるのか
- ・先進地A市は選考方法について：3メーカーから4着ずつの12着から、3メーカーから2着ずつ6着で投票して決定した。
- ・色について：色は紺を考えている。ブラウン、グレーもあるが、汚れが目立たないのは紺。
- ・標準服のリユースについて：保護者の経済的負担を軽減するためには、リユースも視野に入れて仕様を考えておくといよいのではないか。例えば、名前の刺繍をのけるのが大変なので。
- ・現6年生への対応について：
- ・新標準服の統一について：令和7年度に入学する新1年生から新標準服に統一し、令和9年に全学年が揃えたい。
- ・現6年生にとってはどうするのか
- ・決定について：すべてを検討委員会で決定するのではなく、学校へ持って帰って検討してもらっていい。